

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成28年6月定例会の内容をお届けします。

2016
No. 55

平成28年8月12日発行



特集

島田実業高等専修学校
「島実自遊祭」実行委員

&
市議会

特集

島田実業高等専修学校 「島実自遊祭」実行委員 & 市議会

島田実業高等専修学校を訪問し、
10月開催の学校祭「島実自遊祭」の
準備を進める実行委員の皆さんに
お話を伺いました



同校校庭のツリー・ハウスにて（元島田）

「もう一度学びたい！」 想いを大切に

見つけられたね

私の居場所

島田実業高等専修学校（以下島実）
は、通ってきている8から9割が、小
中学校で不登校を経験しています。勉
強面や人間関係でつまづきを経験して
いるものの、「もう一度学びたい！」と
想う気持ちを全力でサポートする学校
です。

〜学校紹介より

この学校で、自分の居場所を見つけ、
生き生きと活動している「島実自遊祭」
実行委員の皆さんに伺いました。

《「島実自遊祭」に向けて

どんな取り組みをしていますか？》

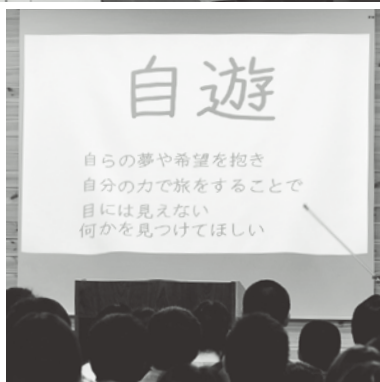
何度も話し合いを重ね、テーマ「こころ
ね〜よる 月明かりにてらされて…」

をみんなで決めました。

《どんな意味を込めたのですか？》

感情の成長を植物の成長になぞらえて
表しています。「こころね」には、心根、
心音と二つの意味を込めました。

心の根を伸ばし、様々なものを吸収し、
自身をしっかり支えていく。根が伸びる



にはよい土が必要です。それは、今の私
たちにとっては島実です。

《島実に入って、

自分が変わりましたか？》

初めの頃は、下を向く自分がいたけれど、周りのみんなの明るさ、温かさにも笑顔でいられるようになりました。心の殻が無くなり、楽しく打ち解けられるようになったと思います。

勉強もわかるようになり、好きになりました。勉強することが楽しいです。

《高校生として、

18歳選挙権をどう思いますか？》

少子高齢化の社会だけれど、若い人が選挙に行って考えを出せることはよいことだと思います。

選挙は遠い存在だと思っていました。よく知って選挙に参加したいと思います。

《10月「島実自遊祭」のアピールを！》

日頃の学習の発表の場です。家族、卒業生、中学生、地域の皆さんに大勢来ていただきたいです。

笑顔がすぎな生徒の皆さん、そして寄り添う先生方、心温まる出会いの場があります。ありがとうございます。

定例会 の 概要

一般会計8738万6千円を増額

平成28年度第2回定例会が、6月1日(水)から28日(火)まで、28日間の会期で開催されました。



6月1日(水) 本会議 議長等選挙と常任委員会改選

島田市議会の議長・副議長選挙を行いました。また、3つの常任委員会と議会運営委員会の構成を変更し、新たに委員を選任しました。
(しまだ議会だより第54号に掲載)

6月1日(水) 本会議 17議案上程

市税条例の一部改正などの報告7件、一般会計・特別会計補正予算など3件、条例4件、その他3件の計17件の議案が上程されました。

6月10日(金)～14日(火) 一般質問 議員16人が登壇

議員16人が、一問一答による一般質問を行いました。
(8～16ページ)

6月15日(水) 議案質疑 議員2人が登壇

議員2人が、議案について当局へ質問しました。(5ページ)

6月16日(木)～17日(金) 常任委員会の議案審査

総務生活・厚生教育・経済建設の各常任委員会が、分散開催によりそれぞれ議案審査を行いました。

各委員会では、本会議初日に上程された議案17件のうち、報告案件4件を除く専決処分の承認や、補正予算・条例改正など13件の議案審査を行いました。
(6・7ページ)

6月28日(火) 本会議最終日 全議案可決・意見書採択

各常任委員会の委員長報告の後、委員会に付託された13議案を全会一致で可決しました。その後、追加で上程された人事故件3件と、特別委員会の設置についての議会からの発議案3件・意見書1件の4件を合わせ、計7件の追加議案も全て全会一致で可決・採択しました。
(意見書 7ページ)

Pick up 1 児童扶養手当制度改正は 何が変わったのか？

Q 改正内容は？

A 2人以上の児童を持つひとり親家庭等の経済的負担軽減が目的である。第2子の加算額を一律5000円から上限1万円に、第3子以降の加算額を一律3000円から上限6000円に見直しを行い、所得に応じて加算額が決まる制度となった。

また、来年4月からは、第2子以降の加算額も、第1子と同様に「物価スライド制」を導入することになっている。

Q この改正に伴うシステム改修の国庫補助は無いのか？

A 地方財政措置の取り扱いになる。直接の補助金ではなく、普通交付税の需要額に算入される。

Pick up 2 市営住宅ニーズへの対応は？

〈議案第61号 市営住宅管理条例の一部を改正する条例〉

Q 金谷地区の根岸住宅が無くなることを補完するソフト事業はないのか。

A 今は無いが、希望者に対しては、関係部署に相談いただき、納得いただけるよう対応する。

Q 今後のソフト事業の動きはないのか。

A 国土交通省が空き家やアパートを利用する準公営住宅の補助制度を平成29年に計画している、と聞いている。

これに注目!! 児童クラブの 施設整備を進めています。

今回、1124万2000円の補正予算が認められました。これは、利用申込者が多かった初倉南小学校区の要望に対応して同小学校の一部を改修する工事費用と、平成29年度に計画している島田第一小学校の改修設計費用に充てられます。

Q 現在の児童クラブの待機児童数は？

A 平成28年4月1日現在31人で、特に小学4年生が多い状況である。

Q 児童クラブの充実を、今後どのように図るか。

A 不足する児童受入数については、民間の協力や学校施設の一部開放などを考えたい。さらに、夏休み中の児童受け入れや開所時間の延長も検討材料で、状況に応じ対処したい。

「児童クラブ」って何？

保護者が仕事などにより、昼間にいない家庭の児童を預かり、専任の指導員が「生活」や「遊び」について指導し、児童の健全な育成を図る事業のことです。

島田市には、平日の放課後に開所する「放課後児童クラブ」と土曜日に開所する「土曜児童クラブ」の2種類があります。



改修予定の初倉南小学校校舎部分(一番手前の教室)

常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があり、議員は必ずいずれかの委員会に属し、議案審査に当たります。6月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

厚生教育常任委員会

道徳教育指定研究事業

六合中学校区で実施

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の均等割・平等割額の5割または2割軽減世帯の判定に関わる所得基準額を引き上げる改正である。これにより、5割軽減対象が59世帯113人の増、2割軽減対象が7世帯16人の減が見込まれ、全体では軽減対象が拡充される予定である。

平成28年度一般会計補正予算

●教育研究推進費

Q 道徳教育指定研究事業の実施校が六合中学校区の3校となった経緯は。

A 県教育委員会から市の教育実践が評価され、実績があり実践しやすいという点で選ばれた。



リオでの活躍を島田から応援します

経済建設常任委員会

倒壊家屋による

死者をゼロに

平成28年度一般会計補正予算

Q 国指定校として教員への過重負荷がある。教員の加配等必要ではないか。

A 小・中学校が連携し負担が軽減できる。県の教員加配等も検討したい。

●保健体育総務費

Q 補正260万円の内容は。

A リオ・オリンピックとパラリンピックに出場する市内出身の3選手を応援するため、ラッピングバス、パブリックビューイング等を考えている。

●温泉施設基金新規積立金

Q この積立金は、ホテルと川根町温泉からの寄附か。

A 川根温泉ホテルから455万円、川根町温泉から1400万円を利益から寄付していただいた。

●木造住宅耐震補強助成事業

Q 木造住宅の耐震補強率は、補強率は74・4%である。木造1軒あたり10万円の

A 上乗せだが、耐震補強率を上げる対策も必要では。自治推進委員経由の告知とともに、戸別訪問によ



防災ベッドの展示

る意向調査も行う。

●耐震シェルター等設置事業

Q シェルター、防災ベッドの価格はいくらか。

A シェルターは本体25万円、防災ベッドは本体が20万円。別途費用が5〜6万円である。

Q これらの設置に市が積極的にできなかった理由は。

A 家屋の耐震化が進まないので、これまでは控えてきた。今後は費用面で耐震化に踏み切れない人を助けていきたい。

総務生活常任委員会

平成28年度から消防業務を静岡市に委託したことにより、委員会の名称を「総務消防常任委員会」から変更しました。

個人番号カード

発行は迅速に！

市税条例等の一部を改正する条例・都市計画条例の一部を改正する条例

条例改正の理由は、わがまち特例の対象が拡大されたことに伴い、特例割合を規定することである。

市内の特例実績は、新築のサービス付き高齢者賃貸借住宅で、5年間固定資産税が軽減される特例が2件ある。

平成28年度
一般会計補正予算

個人番号カード交付事務経費

個人番号カード発行の状況は、

6月10日現在、受付件数

7399件のうち、52・

7%の3989枚が交付済である。

紛失などのトラブルは、個人番号カード紛失1件、通知カード紛失が平成27

年度では134件、平成

28年度では39件である。

その他の報告

市民会館解体工事状況は、周辺住民要望に施工業者

と対応し、契約期間の11月上旬に完了する見通し。



個人番号カード発行受付コーナー

意見書1件を採択しました

地方議会は、その自治体の公益に関することについて、国会または関係行政機関に意見書を提出することができます。

6月定例会では、次の1件の意見書を採択し、国会および関係行政機関に提出しました。

国道1号「藤枝バイパス」及び

「島田金谷バイパス」4車線化の

早期完成に関する意見書

(主旨)

- 国道1号バイパス（藤枝～金谷）の4車線化早期完成
- 東光寺ICを浜松方面へも利用できるよう、フルインターチェンジ化整備

※提出した意見書の全文は、市議会ホームページまたは市役所の情報公開コーナーでご覧ください。

市長に質す！^{ただ}

一般質問

Q&A

市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に一般質問を行います。

島田市議会6月定例会では、各議員による個人質問を実施しています。今回は、質問を行なった全議員が一問一答方式（議員が一つの質問し、市長等も一つずつ答弁する方式）を選択し、質問と答弁の双方で50分の制限時間内で行いました。

今号では、議員16人の個人質問の一部を紹介します。

あなたが興味を持った質問はありますか？

※一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像は、パソコン・スマートフォンなどで見ることができます。



実効性のある

原子力災害避難計画に



もり しんいち 議員

Q 島田市原子力災害広域避難計画が策定された。市が放射能汚染

を強く受ける可能性が強いのは南からの風が吹く時だが、同様な影響が予想される静岡市等を避難先に指定した理由は何か。

A 浜岡原発をまたいでの避難を避けるため、島田市などは東側に避難先を定めた。

Q 浜岡原発の放射線監視センターでの観測データで、年間に南風、西風が吹くのはどれぐらいか。

A 南・南南西・南西合わせて全体の吹く回数の中で10%強、西風については年間約26%である。

Q 西風が吹けば伊豆半島が汚染される確率の方が大きい。そこが避難先というのもおかしい。風向きについてどう考えているか。

A 広域避難計画というのは市単独で作れるものではない。国・県と連携し、いろいろなケースについて、逐次対応できるようにものに進化させていきたい。

Q 避難計画ができたということが浜岡原発の再稼働を認める担保

とならないと思うが、いかがか。
A 当初から、我々はそういったことは全く考えていない。

地域医療条例の制定を

Q 地域医療を守る条例を制定するよう要望したが、現状はいかに。
A 市民・関係機関・行政との協働、医療と介護の連携の内容も含めて、今年度末までに策定したい。



津波と原発事故災害（福島・浪江町）

観光振興には、 若者の役割が大きい



おおいせつ お
大石節雄 議員

Q 様々な祭・イベントにおける若者の参画の影響をどう考えるか。

A 祭りやイベントにおいて若者の参画は、地域コミュニティの醸成や地域活性化を図る上で大変重要である。郷土を愛する気持ちを引き継いでいくという観点からも大きな役割を果たしている。

Q 若者の力を引き出すために、どのようなことをしているか。

A 若手商業者の「シマアツ」、おしゃれボーイズの「ギヤンドルナイト」、川根町青年団の「天山ライプ」、イルミネーション」に対し、様々な角度から支援している。また、市の事業に対して若者の参画・協力を求めている。

Q 活動支援の中で行政の物差しではなく、若者が活動しやすい環境を作るべきでは。

A 民間がやりやすいようにお手伝いをするのが行政の仕事、と考える。

Q 観光交流人口が増えることによる経済効果はあるか。

A 宿泊や観光施設以外でも、飲食・お土産・交通機関の利用等、経済効果はある。

Q 観光協会が事業に追われている。これから観光交流人口を増やしていく中で、協会に観光業の役割を置くべきではないか。

A 人材が無いことが一番の問題である。市の観光課には専門職を置いていて、観光協会には専門の人材を雇う余裕が無い。



毎年800人強の集客力の青年音楽イベント

茶業振興には 販売対策の強化を



やぎのぶお
八木伸雄 議員

Q 昨年鹿児島を視察してきた。茶業の不振は全国的だ。特に静岡県は、福島原発事故・そして新茶直前に行った消費税増税が今なお響いており、深刻な状況だ。

A 今年は凍霜害も無く高品質であったにもかかわらず、消費が低迷している。と認識している。

Q 低迷する茶業の振興を図るには、茶園や荒茶工場など生産現場だけでなく、出口である販売・茶商への支援も必要だ。

A 茶業振興協会を通じ、海外見本市への出店やイベント・試飲販売など、広報宣伝活動を行う。

Q 輸出のノウハウを持った職員を配置し、海外の販路拡大に向けた指導をすべきだ。

A 今後、専門家の配置を考える。試飲販売が可能なイベント情報を行政のネットワークで収集し、茶商に伝達すべきだ。試飲販売の経費の助成も必要だ。

A 茶業振興協会を通して、イベント情報と販売促進の補助事業も

有効に活用できるように図りたい。

Q 消防自動車は市内業者で、市の発注事業は全て市内業者にと行ってきたが、今回も消防ポンプの入札が不調になった。ポンプが異常に高いからだ。ポンプと車を分離発注すべきだ。

A 分離発注も含め市内の業者が受注できるよう検討したい。



販売対策が急務な茶業

自主財源確保に

奔走せよ！



ひらまつよしのり 議員

Q 島田市ならではのアイデアを使い、公共物への広告掲載を行うてはいいかがか。

A 本庁舎正面玄関総合案内所に設置した広告付き案内表示板や、市ホームページのバナー広告等により、自主財源の確保や経費節減に努めている。

Q 市の封筒に広告を入れ、封筒作成費用を削減する取り組みは、他市の事例をこれから研究して、情報収集に努めていきたい。

Q 一部の公用車にラッピング広告を取り入れることは大きな広告収入になるが、いかがか。

A 先進事例の情報を集めて研究していきたい。

Q 自主財源確保の取り組みにネーミングライツ制度があるが、島田市の取り組み状況はいかがか。

A まだ取り組んでいる事業は無い。事業化されていない要因は、

A 選定施設に、ある程度の認知度が無いと応募が見込めないことや、指定管理者制度を導入して

いる施設では、事業者の負担増につながるかと予想されることである。

Q 今後に期待してよいか。

A これからどんなことができるか研究していきたい。

Q 企業誘致に加え、市有地や市有物件を譲渡して起業者の公募を行い、市の活性化を図るべきではないか。

A 実現の可能性を検討していく。



自主財源の一翼を担う市民課案内板

人口流出ワースト

原因は何か！



あおやままさたか 議員

Q 過去3年間の人口推移はどうか。

A 4000万円はかかる。

Q 人口流出について4月の推移は、志太榛原と比較してどうか。

次世代の負担が心配

A 4月の人口減は志太榛原・中東遠で、最も減少していた。

Q 近隣で人口流出ワーストということだが、藤枝市はどうか。

Q 新市民病院の建設予算247億円、借金返済ギリギリ額をなぜ業者に先に示したのか。

A 藤枝市は218人増えている。

A 計画段階での費用を出した。災害で市民病院が傾いたら、国から修繕の補助金は出るのか。

Q 若者が流出する理由は何か。

A 耐えられる建設をする。

A 大学入学、就職等が考えられる。それだけでは説明できない。自信のある政策は何か。

A にぎわい創出、子育て支援など胸を張って行っている。

Q Uターン、Iターンの率は、データを持っていない。

A 若者に投資しないと流出する。

A 若者を応援して世代交代につなげたい。

Q 「若者に投資しないと流出する」と何度でも言う。金谷小学校の体育館の雨漏り。子供たちは見ている。しっかり直すべきでは。



若い力無しで活性化は厳しい。市は危機感を

市長公約の成果を問う！



しみずただし 清水唯史 議員

Q 女性議会の今後の開催は。

A 現職女性議員の協力をお願いし、本年度も開催する。

Q 事業仕分けの終了の理由は。

A 市民参加の行財政運営の健全化に一定の成果が出た。今後も市民参加できる行政評価手法を導入していく。

Q 自治基本条例は平成28年度内での制定を目指すのか。

A 最高規範性を含め十分な検討期間が必要であり、未定である。

Q 障害者優先調達推進法に基づく支援の結果は。

A 障害者支援団体10事業所に10課が15の業務を発注し、浜松市に次ぐ第2位となっている。

Q 富士山静岡空港活用の取り組みは。

A 県と連携し、市民が利用しやすいフライト時間を航空会社に働きかける。

Q 市長公約はいつ示されたものか。

A 選挙の際、取り組むものとして示したものである。

ふるさとPRを市外に

Q 映画祭を主催するふるさと大使・別所哲也氏との協力は。

A 川越街道などを利用したショートムービーコンテストの開催を計画している。

Q 市外在住者との関わりの拡大は。

A ふるさと住民票制度を研究し、ふるさと納税をした人などに継続的に市をPRしていきたい。



鳥取県日野町が発行する「ふるさと住民票」

島田市内に

乗馬クラブの設立を！



ふくだただお 福田正男 議員

Q 市内の有志が馬術クラブを立ち上げようとしている。事業の経営理念では、乗馬クラブを通じて地域活性化と地域イノベーションに貢献すると謳っている。

A 私たちが暮らす島田市は、この先2060年には高齢化・少子化の進展や人口構造変化に伴う地域力の低下、並びに生産年齢人口の減少などが予想され、地域への影響は計り知れない。市の島田市人口ビジョンである「まち・ひと・しごと創生」への協力として、乗馬というスポーツ振興を通じ、オリンピックや国体を目指す若者の流入、ふれあい教育を通じての子育て支援、ホースセラピーによる健康長寿などの面から、地域連携の輪を広げていきたい。

Q この事業の提起に対して、市はどのように考えているか。

A 理念に賛同するところが多く、島田市にあったらいいと思う。

Q 以前陸上競技場として整備した伊太田代の土地の提供は可能か。

A 市民アンケートや地元住民とのワークショップを開催するとともに、立地条件や自然環境などを考慮し、整備の方向性を検討していく。

Q 蓬萊橋お休み処整備事業の今後のスケジュールは。

A 国土交通省の河川法関連の手続きの後に補正予算を計上し、今年度中に建設に着手したい。



どうなる？ 伊太田代の陸上競技場予定地

まちづくりの原点は

目先にある



さきの よしほる 議員
佐野義晴 議員

Q 本市の都市計画区域は、非線引き（都市計画区域内の用途地域の指定のない区域）になっている。これを上手に生かす方法で、土地利用の転換（まちづくり）や規制緩和が図れないか。

A 非線引きのメリットを生かした方策を進める。

Q 農地転用は難しい課題である。課題解決に向けて、都市計画区域内外の白地地域の山林や原野等にあらかじめ代替え農地を確保し、それにより生み出された相当面積を用途地域に振り向け、土地利用の促進が図れないか。

A 有利な施策材料になる。

Q 耕作放棄地が拡大している。基盤整備事業を進め、それによる創設非農地を事業用地として処分して清算するとか、改正農地法を生かした土地のリース方式を活用し、企業参入を促進させ土地利用の見直しを図るなど、適正な農地保全ができないか。

A 農業振興上、必要な事業であり地権者の同意を得て進める。

避難所の耐震性はどうか

Q 熊本地震を教訓として、各自主防災会の第一避難所となっている学校体育館（小・中・高）で、不都合のある施設はあるか。

A 国の基準に照らし合わせて耐震性に劣る施設は無い。ただ、東海地震を想定した場合には、やや劣る体育館が3施設ある。



新たな土地利用の可能性を持つ大津地区

島田市の観光産業を

盛り上げよう！



すぎの なおき 議員
杉野直樹 議員

Q 市が目指す「これからの観光産業振興」とは、どのようなものか。

A 情報収集力や情報発信力を活用し、新たな観光資源の発掘や体験メニューの構築を行い、地域内の観光客の周遊・宿泊・リピートに結びつけていきたい。

Q 「中部・志太榛原DMO」とは何か。

A 「中部圏にどのようにして人を呼んでくるか」を研究している。また、地域にいろいろな体験メニュー等がたくさんあるが、それらを結び付け、この地域だけで完結するようなツアーを組んでいくなど、そのための情報収集をする事業である。

交通弱者の移動手段を！

Q 交通弱者とはどのような人か。

A バス、鉄道、タクシーといった公共交通機関の利用を制約されている人、また、自ら移動手段

を持たない人のことをいう。

Q 島田市において、交通弱者と言われる人の交通手段は何なのか。

A 他市では、地域の皆様の助け合いによる移動サービスの実例がある。地域の皆様の力をお借りして、交通弱者に対する移動手段を確保していきたい。

「DMOの意味とは？」

- D** : Destination
(目的地・到着地)
 - M** : Management/Marketing
(マネージメント・マーケティング)
 - O** : Organization
(組織)
- 日本語に訳すと (観光地域づくりを行う組織)



詳しくは観光庁ホームページで
http://www.mlit.go.jp/kankocho/page04_000048.html

DMOに必要な3つの要素

空スペースを公的活用し 賑わい創出



村田千鶴子 議員

Q 島田大祭の年をビジネス化の好機とし、来訪者への案内情報機能強化として、電光表示機大型ビジョンの設置の考えは。

A レンタル費用が高額のため導入は難しい。前回同様に、GPS機能を利用した位置情報サービスや50インチモニタの設置と更にタブレットの活用を検討。

Q 産業支援センターと連携し、積極的に需要を喚起する考えは。

A 補助制度の活用を促し、事業者のビジネス展開を支援していく。

Q 長年の懸案である「びーファイブ」1階部分の公共的利用を検討し、賑わい創出を図る考えは。

A 施設の特性を生かした貸しスタジオ等の音楽関連施設を有力候補とし、来春以降に活用したい。

田代に多目的グラウンド

Q 河川敷スポーツ施設へのトイレや更衣室の環境改善策は。



公的な利活用が予定されるびーファイブ1階

A トイレは課題。更衣室は貸し出し簡易テントでの対応を検討。

Q 横井のサッカー場整備は。

A 現状維持の整備に努める。

Q 田代の郷整備計画は公益目的から、競技人口やスポーツの普及度、市民の需要を基本とし、隣接の伊太和里の湯と一帯となった施設利用の一つとして多目的グラウンドをと考える。市の最終方針決定にあたり、第三者委員会の設置の考えは。

A 庁内で、今年中に的確に判断。

今後どうする？

土砂災害警戒区域



藤本善男 議員

Q 市内の土砂災害警戒区域の実情はどのようになっていくか。

A 急傾斜地429カ所、土石流156カ所が警戒区域である。

Q 災害警戒区域に指定された後、対策をすれば指定区域から除外されるのか。

A 地形の形状が変わらない限り、指定は変わらない。

Q 特に危険な箇所である特別警戒区域内の住居はどの程度あるか。

A 危険箇所が400カ所あるので、過去の統計から類推すると、800戸程度あると考える。

Q 5月に発生した伊久美地区の土砂災害では、長期間通行止めが続いた。被災地の孤立を防ぐ道路のネットワーク化はどうか。

A 林道京柱線（しんけいせん）の工事進捗率（しんたつりつ）が50%で、平成32年度完成の見込み。

学校現場多忙化の原因は

Q 教職員の勤務実態は、どのように把握しているか。



5月に伊久美地区で発生した土砂災害の現場

A 勤務実態調査を実施しているが、超過勤務時間が月80時間を越えている教職員もいる。

Q 市の予算で行っている支援体制は、どうなっているか。

A 53人の支援員とその他に31人が、教職員を支援している。

Q 多忙化に対し、現在の支援は満足できる体制であるか。

A 充足率についてのデータは無いが、できるだけ長く子どもたちが接する工夫をしている。

「頭痛に農振」^{ノーション}は共通語？



やまもとたかお
山本孝夫 議員

Q 農業振興地域整備の法律が昭和44年に施行後、農家の世代も変わり社会構造も大きく変化したが、農振除外のハードルは高く農家は頭を痛めている。農振除外の相談は毎年のどのくらいか。

A 100件超の相談があり、約30件が除外適用または申請をした。地すべり区域に住んでいる農家は深刻で、平らで安全に暮らせる土地がありながら、農振がかかっているため家が建てられない。どうすればよいのか。

A 農振除外の要件はいくつかあるが、窓口としてできる限り希望に沿うよう対応したい。
Q 土地利用計画は10年先を見通して行おうべきと考えるが、どうか。
A 国県と協議しながら、将来にわたる計画を立てていく。

自治基本条例は慎重に

Q 多くの人が何年もかけて素案を作っているこの重要な条例案を、



地すべり区域の表示板と隣接する民家

一会期中に上程し審議することは、あまりに短か過ぎないか。何か工夫はないのか。

A パブリック・コメント集約後最終案を提示するので、会期中に審議してほしい。
Q 私は、継続審議を頭に入れていく。この条例案の担当部署の職員も含めた有志の議員による研究会を設置する考えは無いか。
A 議員が発案実施するなら、一緒にやることはできる。

熊本地震を踏まえ

庁舎建設の考えは



いとう たかし
伊藤 孝 議員

Q 熊本地震で、本庁舎倒壊の危険から使用できなくなった自治体が熊本県内で5自治体ほどあったことを踏まえ、新庁舎・市民会館の建設についての考えは。

A 改めて庁舎機能の重要性を認識した。現在、新病院建設事業の基本設計が始まり、新病院建設事業が基本計画で想定した事業規模・スケジュールで事業化出来る目途が立てば、老朽化した本庁舎や解体に着手した旧市民会館の機能の再生に向けた検討を改めて具体化させて行きたいと考えている。

Q 合併特例債を利用して、期限内の平成32年までに庁舎を建て替えることは可能か。

A 制度的には適用は可能だと考えている。

情報は大丈夫か？

Q 情報保管・バックアップの現状はどうか。

A 住民情報等の重要なデータは、システム障害や災害等により消失等、万一の事態が発生した場合に備え、迅速にシステムの復旧を行い、市役所業務を早期に再開するため、定期的にデータのバックアップをし、安全に保管をしている。



発災後事業継続は可能か？（ましき 益城町役場）

金谷庁舎は 金谷地域の「心」の存在！



なかだゆうこ 議員

Q 金谷庁舎（旧金谷町役場）を残す方法を、なぜ検討しなかったのか。

A 平成21年3月、島田市総合計画において解体して住民福祉に資する新たな施設を整備する方針。さらに平成26年3月に後期基本計画の中で、総合的に検討を進める方針が示されている。

Q 金谷庁舎が無くなってしまい、寂しい思い、やりきれない思いが怒りとなっている。市長自ら説明をすべきである。

A 今、自治会を回る車座トークを行なっている。金谷地区市民の思いを受けて、市長の考えをしっかり説明する考えである。

Q 金谷庁舎跡地に北支所と南支所を統合すると示したが、合併特例債のペナルティーはあるか。

A 施設の設置目的である地域交流センターとして両施設が存続されれば、合併特例債の返還は生じないと認識している。

地域活性化に対する支援

Q まちづくり支援事業補助金が増額され、新たに自治会活動推進手数を設けたが、減額になった補助金もある。対策はあるか。

A 平成18年度に設けた自治会活動活性化事業費補助金があったが、合併10年経過で減額した。県市町村振興協会の補助金を紹介し申請手続きも説明している。



金谷町最後の議会記念（平成17年3月13日）

平和都市宣言を 生かした取り組みを



さくらいゆうこ 議員

Q この夏計画されている「平和のつどい」はどのような内容か。

A 島田空襲被爆者慰霊のつどい、平和祈念式典、戦争と平和に関する展示の3事業だ。

Q 平和祈念式典の講演内容は何か。

A 島田市出身でフランスを拠点に平和の活動をされている美帆シボさんの「つるにのって」の講演を予定している。

Q 広島・長崎で行われる平和式典に中学生を派遣する事業を実施してはどうか。

A それよりも、現在行われている平和祈念事業により多くの児童生徒が関わることで、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていきたいと考える。

放課後児童クラブ対策は

Q 公設・民設合わせて17箇所ある放課後児童クラブの待機児童の実態はどうか。



アニメ「つるにのって～ともこの冒険～」

A 4月時点で一部のクラブが定員を超えたため、緊急措置として教室の一部や隣接施設の会議室などを借用することにより受け入れを拡大した。しかし、受け入れ困難なクラブが9箇所、31人の児童が待機している。

Q 定員を超えて受け入れているクラブの増設計画はどうか。

A 今年度初倉南小学校で拡張工事を実施し、定員を30人から54人にする。来年度は島田第一小学校での増設を予定している。

オレンジタウンの 早期完売を目指せ



よこたがわまさひと
横田川真人 議員

- Q** 神座のオレンジタウンの販売区画数はどうなっているか。
- A** 総数103区画で、残りは27区画である。
- Q** 販売価格の推移は。
- A** 坪平均19万8000円であったが、現在は10万9000円となっている。
- Q** 売れ残りがある原因は。
- A** 一区画あたりの坪数が大きいことと、民間事業者が手ごろな面積で宅地開発をしていること。
- Q** 維持管理に、毎年度の程度費用がかかっているか。
- A** 借入利息と空き地の管理で91万円ほどである。
- Q** 区画の見直しはできないか。
- A** どれぐらい販売効果があるかというところを見ながら、検討課題とする。
- Q** スポーツに力を入れよう
- Q** 市内でスポーツ施設の整備予定は。
- A** 島田球場の改修と、伊太田代の郷の整備を考えている。
- Q** 種目として力を入れているスポーツはあるか。
- A** ニュースポーツの普及に力を入れている。
- Q** 施設の予約をせずつとも気軽にスポーツが始められるように、公園を整備できないか。
- A** 公園法や河川法、近隣住民への配慮等、条件を考えて検討したい。



残り27区画の早期完売を！

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

特別委員会を設置しました

6月定例会最終日の6月28日に「議会改革に関する特別委員会」、「地域活性化に関する特別委員会」、「議会だより編集に関する特別委員会」の3つの特別委員会を設置することが決まりました。

議会改革に関する 特別委員会

特別委員会

島田市議会では、議会報告会の開催や会議の公開など、市民に開かれた議会となるよう改革の取り組みを進めてきました。これまでの議会改革に関する取り組みについてさらなる調査・研究を行うとともに、実行する内容についての調査・研究を行います。

【委員長】 紅林 貢
【副委員長】 伊藤 孝
【委員】 杉野 直樹、山本 孝夫、桜井 洋子、佐野 義晴、八木 伸雄、藤本 善男、平松 吉祝

地域活性化に関する 特別委員会

特別委員会

市内にある蓬萊橋・大井川鐵道のSL・温泉施設などの観光資源や、新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺に予定されている「賑わい交流拠点」などの「まちの魅力を活かした、独自性のある地域活性化の取り組み」に関する調査・研究を行います。

【委員長】 福田 正男
【副委員長】 森 伸一
【委員】 青山 真虎、横田川真人、清水 唯史、村田千鶴子、仲田 裕子、大石 節雄

※「議会だより編集に関する特別委員会」は、編集後記(20ページ)をご覧ください。

活動を終了しました!

特別委員会報告

次期島田市総合計画に関する特別委員会

「未来を拓く!」6つの提言

本特別委員会では、平成30年度から37年度の「次期島田市総合計画」の策定に向けて、未来のまちづくりの指針とするよう6つの提言をまとめました。この提言は、6月定例会最終日の6月28日(火)本会議にて承認されました。

期島田市総合計画の策定作業にあたり、市議会としても引き続き調査・研究をしていきたいため、計画の策定状況などについて、計段階での早期の情報提供に努めるよう要望しました。

- 【提言】
- 1 都市基盤の充実
 - 2 産業支援体制の充実
 - 3 生活環境・自然環境の保全
 - 4 医療福祉体制の充実
 - 5 教育環境の充実
 - 6 行財政の充実

これを受け、同日の定例会終了後、曾根議長から染谷市長へ提言書を手渡しました。また、今後の次



「6つの提言」を染谷市長に手渡す曾根議長



去る6月28日に2つの特別委員会が活動を終了しました。委員会の調査・活動の成果報告を紹介します。

島田市の医療を考える特別委員会(視察報告)

先進事例に学ぶ地域医療体制を

5月10日、地域医療連携の先進地である「掛川市希望の丘」を視察しました。

「希望の丘」は、中東遠総合医療センターの開院に伴い、閉院した掛川市立総合病院の跡地を活用し、「健康医療日本一のまち・掛川」を実現させることを目的として医療、保健、福祉、介護、教育に関する施設が一体的に整備されたものです。

ここには、静岡県立掛川特別支援学校(小・中・高)、医療法人による掛川東病院と介護老人保健施設、社会福祉法人による生活介護事業所、特別養護老人ホーム、認可保育所、社会福祉協議会による放課後等デイサービスセンター、そして「中部ふくしあ」と小笠掛川急患診療所等が存在します。

それぞれが単体で事業を行っているだけではなく、「希望の丘」の中に共存しているため、ソフト事業による利用者間による交流、世代交流そして地域との交流、多種が集まる資質向上の場となっています。



健康医療支援センター「中部ふくしあ」を視察

市政と市議会への意見、ありがとうございました

平成28年度第1回議会報告会（平成28年5月21日）

議会報告会を市内3会場で開催し、市議会議員全員が3会場に分かれて出席しました。市議会の活動と3つの常任委員会の内容について報告し、参加した皆さんと意見を交換しました。

会場：島田市役所会議棟 参加者：23名

質疑

- 緑茶化計画はロゴを作って終わりなのか。戦略があっ
て行っているのか。
- 議長立候補制の狙い、これまでの議長職における問題、
非公開とした理由は何か。
- 議会改革について、チェック機能を果たすため、議員
を常勤化することはできないか。
- 新病院建設は、周辺の道路整備もしっかりと予算化す
べきだと思うが。

要望

- 市内の土砂災害警戒区域を再度考えるべき。
- 蓬萊橋周辺の駐車場整備をすべき。



要望や意見は市当局に伝え、市議会でも検討します。

会場：金谷北地域交流センター 参加者：16名

質疑

- マイナンバー登録について市役所窓口で「必要ない」
と言われたが、議員はどう思っているか。

要望

- 市民病院の駐車場に昼夜停めっぱなしの車両が多いた
め、駐車場が足りていない。対策を。
- まちづくり支援交付金10万円の交付金でプレゼンをや
らせるのは、他市では考えられない。
- 行政は、予算の使い道をもっと精査するべきだ。
- 市議会と自治会のつながりをもっと持つべきだ。

会場：市役所川根支所 参加者：13名

質疑

- 賑わい交流拠点事業はIC周辺の五和ごわに集客され、川
根地域に過疎化が進むのではないかと懸念する。
- 新市民病院建設事業は、医師確保などの中身もしま
かりとやるべきだ。

要望

- この度の熊本地震で宇土市役所が崩壊した。島田市は
市役所の建て替えはしないとのことだが、市の重要な
データは新基準の安全な場所へ保管してほしい。
- 身近に外で親子で遊べる場所の設置について、公園づ
くりが難しければ、学校のグラウンドを開放してほしい。

厚生教育常任委員会 所管事務調査

学校給食納入業者を調査しました！



本年1・2・4月と連続して学校給食（米飯）への異物（機械類の金属片）が混入する事故が発生しました。厚生教育常任委員会では、5月31日（火）に掛川市にある学校給食納入業者の視察を行い、現場の状況を確認しました。

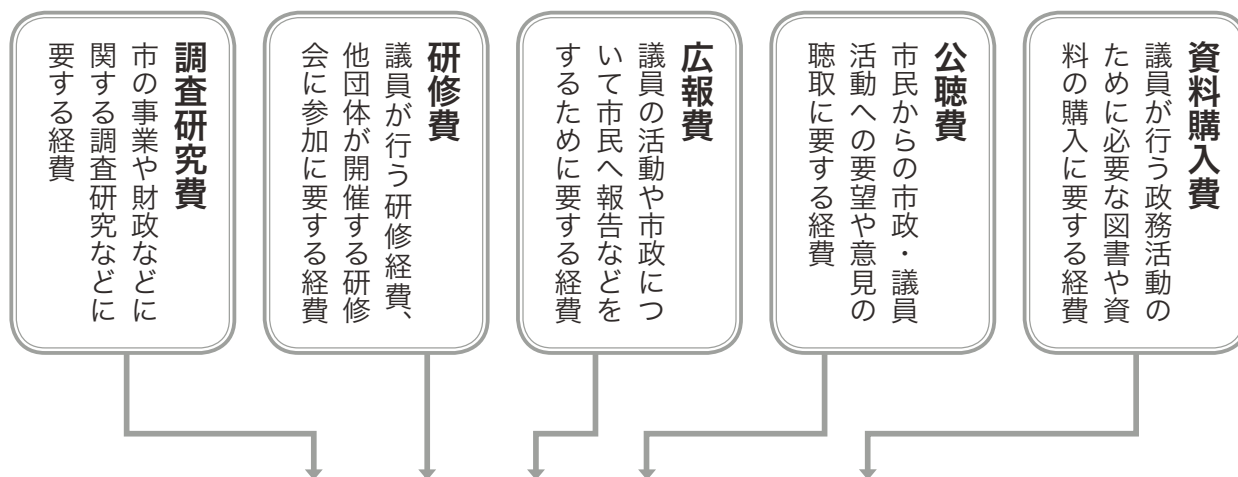
市教育委員会と委託元である静岡県学校給食会から説明を受けた後、給食製造現場を視察しました。委員から納入業者に対し「機械や器具の更新年数を定めるべき」、「事故後の対策は当然。再発防止策を立てるべき」などの意見がありました。また、県学校給食会に対し、「委託先の全ての学校給食納入業者へ事故防止指導を徹底すること」を要望しました。



米飯の製造現場を調査しました

政務活動費は、地方自治法に基づき地方議会の議員に交付される経費のことで、各地方議会ごとに金額などの交付要件が定められています。

島田市議会では、議員1人に年額20万円を上限として交付しています。残額は返還させ、超過額は自己負担としています。



(単位：円)

議員名	交付額	支出内訳							支出合計	自己負担額	返還額
		調査研究費	研修費	広報費	公聴費	資料作成費	資料購入費	その他の経費			
青山 真虎	200,000			45,900			70,658	8,932	125,490	0	74,510
伊藤 孝	200,000	139,750					10,930	17,049	167,729	0	32,271
大石 節雄	200,000	58,600	95,900					2,570	157,070	0	42,930
紅林 貢	200,000	70,060	31,870					98,528	200,458	458	0
桜井 洋子	200,000		125,420					16,816	142,236	0	57,764
佐野 義晴	200,000	58,600	77,580					31,886	168,066	0	31,934
清水 唯史	200,000	70,330	184,620						254,950	54,950	0
杉野 直樹	200,000	74,540	95,900						170,440	0	29,560
曾根 嘉明	200,000		117,800						117,800	0	82,200
仲田 裕子	200,000	61,880	123,560					18,896	204,336	4,336	0
平松 吉祝	200,000	87,800	30,000						117,800	0	82,200
福田 正男	200,000	109,230	104,450						213,680	13,680	0
藤本 善男	200,000	101,970	94,640		750		9,876		207,236	7,236	0
村田千鶴子	200,000	87,800	30,000				9,374		127,174	0	72,826
森 伸一	200,000	86,000	260,350				10,368		356,718	156,718	0
八木 伸雄	200,000	80,920		33,696			2,570	44,988	162,174	0	37,826
山本 孝夫	200,000	88,880	127,360				5,596		221,836	21,836	0
横田川真人	200,000	74,540	95,900						170,440	0	29,560
合計	3,600,000	1,250,900	1,595,350	79,596	750	0	269,172	89,865	3,285,633	259,214	573,581

*政務活動費収支報告書は、情報公開コーナー（市役所、金谷南支所、金谷北支所、川根支所）で閲覧することができます。

「百聞は一見にしかず 大井川水系の環境保全」 ～現地を視察～

大井川水系のダム・発電所 さわらしま 榎島、つばくろさわ 燕沢視察（平成28年7月12～13日）

リニア中央新幹線南アルプストーンル工事による大井川の流量減少や環境保全が、大きな問題となっています。

中部電力株式会社の協力により、島田市議会議員のうち15人が大井川水系を視察しました。

JR東海が提案している大井川へ湧水を戻す地点のさわらしま榎島（井川集落から約40km上流）や7ヶ所の残土置き場のうち最大のつばくろさわ燕沢を現地確認しました。また、上流域のダムの状況を把握し、共通認識を深めました。



編集後記

6月定例会において、議会構成が替わり「議会だより編集に関する特別委員会」の委員も入れ替わりました。去る7月10日参議院通常選挙にて初の「18歳選挙権」が行使されました。市議会は市政を担う一翼として、当市の現状、課題、議員活動など議会だよりを通して、若い世代にも興味を持っていただけるように工夫し、市民と市政をつなぐパイプ役としてわかりやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見やアイデアなどお気軽にお寄せください。



議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 村田千鶴子
- 【副委員長】 山本 孝夫
- 【委員】 杉野 直樹 伊藤 孝
- 桜井 洋子 仲田 裕子
- 八木 伸雄

9月市議会定例会傍聴のお知らせ

議会を聴きに行こう！
議会をオンラインで見よう！

傍聴は、市議会議場（市役所本庁3階）へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	9/1	2	3
				本会議 (初日)		
4	5	6	7	8	9	10
					本会議 (一般質問)	
11	12	13	14	15	16	17
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (議案質疑)	常任委員会 (厚生教育)	常任委員会 (経済建設)	
18	19	20	21	22	23	24
	敬老の日	常任委員会 (総務生活)	常任委員会 (予備日)	秋分の日		
25	26	27	28	29	30	7/1
					本会議 (最終日)	

☆本会議・常任委員会は9時30分開会です。

☆日程変更について、ホームページ等で確認してください。

あなたのパソコン・スマホで、オンラインでも視聴できます。
青いラインの日には、インターネットでの生中継を行います。